

防災だより

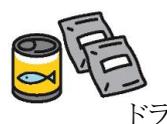
令和5年6月号

今回のテーマ：「防災への備え①避難の種類」～非常持ち出し袋に何を入れる？～

災害発生時の避難に種類があることを知っていますか？避難の種類に応じて、選ぶ防災用品も違いがあります。何を準備しておけばいいか、自分でも考えてみましょう。



避難の種類と用意すべき防災用品

種類	1次避難	2次避難	在宅避難
意義	災害発生時、自分のいる場所が危険になった場合に避難すること。	災害発生時、自宅に住めず、避難所や避難先で過ごすこと。	自宅で避難生活を送ること。
必ず用意すべきもの	 <p>500ml ペットボトル 3～5本</p>	 <p>3日分の水 (1日30計算)</p>	 <p>7日分の水 (1日30計算)</p>
	 <p>携帯食(朝・昼・晩)</p>	 <p>3日分の食料 (缶詰、レトルト食品 野菜ジュースなど)</p>	 <p>7日分の食料 (缶詰、レトルト ドライフルーツなど)</p>
	 <p>懐中電灯、ランタン</p>	 <p>懐中電灯、ランタン</p>	 <p>懐中電灯、ランタン</p>
	 <p>現金(小銭含む)</p>	 <p>毛布、寝袋、 エアーマット</p>	 <p>毛布、寝袋、 エアーマット</p>
他に保険証や、預金通帳のコピー、スマートフォン、モバイルバッテリー、ヘルメット、レインコートなど	他に簡易トイレ(24回分)、歯ブラシ、カセットコンロ(ボンベ3～5本)、目隠しポンチョなど	他に簡易トイレ(56回分)、歯ブラシ、軍手、乾電池、歩きやすい靴など	
1日分の命をつなぐもの	出来るだけ快適に過ごすもの	最低3日命をつなぐもの	

以下のものは、家族で1人のみ準備しておきましょう。

- ラジオ (FM 有)
- 救急セット (絆創膏、ガーゼ、包帯、消毒液、ピンセット)
- 除菌シート/ウェットティッシュ
- 紙皿、割り箸、ラップ、ポリタンク、
- ドライシャンプー、ハンドソープ
- マッチ/ろうそく
- ペン、ノート
- 体温計



これ以外にも、眼鏡や杖、常備薬、生理用品、幼児用セット(紙オムツ、ミルクなど)、ペットフードなど、家庭に応じて、災害時に必要とされるものは多種多様です。

支給されるものが、自分の好みとは限りませんので、用意できるものは自分で用意して、災害時に、いつでも持ち出せるようにしておきましょう。